

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 1 2	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Moderate alcohol consumption and lower levels of inflammatory markers in US men and women. アメリカ人男女による中等度飲酒と炎症性マーカー	
執筆者	
Pai JK, Hankinson SE, Thadhani R, Rifai N, Pischon T, Rimm EB	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Atherosclerosis 2006; 186: 113-120.	
キーワード	
アルコール、炎症、疫学、急性期蛋白、サイトカイン、生物学的指標	
要 旨	
<p>中等度の飲酒が循環器疾患のリスクを低下させることが知られている。そこで、その機序を探るために、アルコール摂取量と炎症性マーカーとの関連について検討した。</p> <p>二つの大規模コホート研究から、保健医療関係者の健康な男性 959 人、女性 473 人についてのアルコール摂取量の記録を用いた。炎症性マーカーは、TNF-R1 (溶解性腫瘍壊死因子アルファレセプター)、TNF-R2、CRP、IL-6 を測定した。その結果、飲酒量と TNF-R1, TNF-R2, IL-6 と負の関連を示した。</p> <p>中等度までの飲酒が循環器疾患を減少させる機序にこれらの炎症性マーカーが関与している可能性がある。</p>	